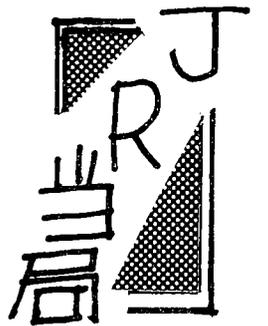


## 4/9 清算事業団差別配属事件地労省抗争

# 当局、出席もボイコット



# 不採用に自認

選別不当解雇を

四月十九日、千葉地方労働委員会において、JR不採用―清算事業団事件の第三回審問がおこなわれた。

JR当局は、その前日、「意見書」なる文書を地労委に提出し、「除せき期間」を口実とした審理妨害や、「国鉄改革案」を盾にとった門前払いの要求が、結局受け入れられなかったことに対し、労働委員会への出席をボイコットするという極めて反動的な対応をおこなった。

これは、選別的採用拒否が、明白な不当労働行為であり、不当解雇であったことを自ら認めるに等しい行為である。また、

労働者の側から見れば、極めて不十分なものにすぎないとしても、まがりなりにも、労働者の救済機関として設置されている労働委員会制度を、資本の側から否定しざる、極めて反動的行為である。

「意見書」は、この間の反動的主張をくり返したりえで、「貴委員会の見解はおよそ立証の法理及び経験則を無視する違法なものであるといわざるをえない」「いたずらに審理を行う必要がないことはいうまでもない」と、十万人もの首を切り七千人もの労働者を清算事業団に送り込み、二百人もの仲間たちを自殺に追いこんだ自らの所業を

タナにあげて、労働委員会を恫喝するのである。恥しげもなく、よくこのような書面が書けたものだ!

JR当局が出席をボイコットするというならば、それも勝手である。われわれは、それならば、それも逆手にとって、国家的不当労働行為の実態を全面的に暴きだし、十二名の仲間の原職奪還と、「四・一―体制」粉砕のため

めい全力で闘うまでのことである。この日の審問では、前回に引き続き、中野委員長が証言にたち、動労千葉が分難・独立して以降国鉄当局が、どのように動労千葉を敵視し、組合破壊のために様々な攻撃を加えてきたかを全面的に暴きだした。次回(五月二三日)は、引き続き、中野証言がおこなわれる。

スライドや中野委員長の話聞きまして、非常に心強いものを感じました。ご承知のとおり、自民党は底なしのリクルート疑獄のなかで大変な危機を迎えています。

5/14 沖縄闘争東京集会

● 5月14日(日)12:30分

● 中央区・日本橋公会堂

### 一日も早く国会解散を!

十周年記念レセプションでの

来賓の方々のごあいさつ

日本社会党・上野 健一 氏  
千葉一区予定候補者の上野でございます。

社会党は、一日でも早く国会解散をかちとり、政治の方向を逆転させたい。その闘いを通じて、国鉄分割・民営化攻撃の恨みをはらすときが来るし、また、そうしなくてはならない。新たな決意で闘っていきす。

日本社会党 大木 正 吾 氏  
千葉三区予定候補者の大木でございます。

今、私達は「戦後総決算」に対しまして、逆襲の時期を迎えたと考えています。土井委員長を総理にという声もあります。

千葉においては、幕張メッセ、東京湾横断橋、リゾート問題で私の故郷のみなさん、農民、漁民が泣いている。そうしたことを考えると、なんとして一日でも早く「国会解散」をかちとって、頑張ることを決意いたしました。お祝いの言葉とします。

家族会

### 第5回連続講座

とき・ 5月14日(日)14時  
ところ・ 千葉市社会センター